



一中だより

浜田市立第一中学校学校便り 第1号
令和5年4月19日(水)

〒697-0024 浜田市黒川町3745
TEL 0855-22-0946
FAX 0855-22-0947
E-mail dail@hamada.ed.jp



浜田市立第一中学校HPはこちら
浜田市立第一中学校HPはこちら

「令和5年度スタート」

校長 川田 英樹

日増しに、春の日差しが心地よく感じられる季節がやってきました。全校生徒364名、職員43名で令和5年度がスタートしました。明るくさわやかに、生徒・職員・保護者・地域の人々が響き合える学校をつくっていきます。よろしくお祈りします。

始業式では、1学期頑張りたいこと「凡事徹底」について話をしました。「あいさつ」「ありがとう」など当たり前のことが当たり前にできる学級、学校にしてほしいと思います。

入学式では120名の新生を迎えました。担任の先生から名前を呼ばれ、立派な返事ができました。これから始まる、中学校生活へのやる気を感じることができました。入学式の式辞でお話したことをお伝えします。

～入学式 式辞より(抜粋)～

3年後、みなさんは、義務教育を終え、自分の進む道を家族の人、担任の先生のアドバイスを参考にしながら、最終的には自分自身で選択しなければなりません。3年後に身に付けてほしい力をイメージすると「自分で考え、自分で判断し、最後は自分が決定して行動する力」となります。そのためには、自分で壁を作らず、失敗する勇気をもって、何事にもチャレンジしてほしいと思います。

みなさんの入学を祝して私から、「夢から目標へ」という話をします。みなさんは、小さな頃からいろんな夢をもっていたと思います。いろんな転機で「夢」が変わった人も多いと思います。夢は変わってもいい。やりたい!こうなりたい!と思ったときそれに向かってどんどんチャレンジしていくことが大切です。

四大会連続オリンピックへ出場し、33歳で引退をされた、水泳の北島康介選手のエピソードを紹介します。5歳から水泳を始めた北島選手は、国際大会でメダルを取り、オリンピックに出たいという夢を小学校の頃からもっていたそうです。そこで達成できそうな小さな目標を決め、それに挑戦する。達成できたら次の新たな目標に挑戦する。少しずつ高い目標に向かっていく。そうしてオリンピック出場の夢は目標になり、高校3年生の時にシドニーオリンピックで夢を実現します。アテネオリンピックで金メダル獲得など、その後も素晴らしい記録を残されました。私がすごいなあと思ったことは、才能に甘えることなく、コーチなどのアドバイスを素直に聞き、目標を一つずつクリアして、自分を成長させ、夢を叶えたところです。北島選手は、夢・目標についてこう言っています。「目標は夢に近づくための階段です。いつかそうになりたいというのが『夢』。今の自分が頑張ればできそうなことを『目標』といいます。」

それでは、新生のみなさんが、目標をもち、夢を追い、希望を求め、大きく成長することを願い、吉田貞雄さんの「夢の八訓(はっくん)」を贈ります。

- 夢のある者には、希望がある。
- 希望のある者には、目標がある。
- 目標のある者には、計画がある。
- 計画のある者には、行動がある。
- 行動のある者には、実績がある。
- 実績のある者には、反省がある。
- 反省のある者には、進歩がある。
- 進歩のある者には、夢がある。

保護者の皆様、変化の激しいストレスの多い社会を生き抜いていくには失敗や挫折の経験も必要です。

子どもが失敗や壁にぶつかったときに家庭と学校が一緒になって「立ち直る力」をつけていきたいと思ひます。どうかよろしくお祈りします。



【令和5年4月3日撮影】

希望と期待あふれる入学式

4月11日（火）、入学式を挙行了しました。新入生120名は緊張した表情を見せながらも凛とした態度で式に臨み、新担任の呼名に対し元気な声で返事をしていました。新入生を代表して中武 樹さん（松原小学校出身）が、「お互いに思いやりの心をもって協力し合い、充実した3年間にしていきたい」と、決意を述べました。厳かな雰囲気の中にも温もりが感じられる立派な式になりました。（主幹教諭 段）



工夫を凝らして新入生を歓迎～新入生歓迎会・部活動紹介～



4月14日（金）の5、6校時に新入生歓迎会を行いました。第1幕「生徒会企画」では、まねっこピーナッツとかもつ列車を行い、大変盛り上がりしました。かもつ列車では見事1年生が優勝をし、じゃんけん王として生徒会本部から表彰を受けました。そして、その後クラス対抗のクイズ大会「一中マニアになれ！」を行い、各クラスが協力をして、競い合いました。どの企画も大変すばらしいもので、1年生はもちろん2、3年生も笑顔で参加していました。

第2幕「生徒会説明」では、生徒会組織や各専門委員会の説明、学校行事の紹介、小学校と中学校の違いなどについてスライドを使って説明しました。予定時間を過ぎていたため省略しながらの説明でしたが、1年生にもわかりやすい説明を行いました。

第3幕「部活動紹介」では、17の部活動が工夫を凝らした紹介をしてくれました。練習風景を再現したり、オリジナルのストーリーを演じたりしている部活動もありました。実際にプレーや演奏をしてくれた部活動は迫力がありました。1年生にとって今後の部活動を定める参考になったと思います。1年生は今後、部活動体験期間に入ります。どの部活動に入るかじっくり考えて決めてほしいと思います。

今後も生徒会本部を中心に様々な企画を検討しています。楽しみにしておいてください。（生徒会担当 山岡）



慣れからくる“油断”

全国の中学・高校生の自転車事故がもっとも多い月は何月かご存じですか。自転車通学を始めたばかりの新入生が慣れない道を運転するようになる4月だと思われがちですが、それ以上に「5・6月」が圧倒的に多いそうです。その時期の事故が特に多いのは中高生ともに「1年生」で、通学路に慣れ始めることによる注意不足がその一因になっているとの指摘があります。また、そうした事故の発生場所は、比較的交通量が少ないと思われる歩道のない裏道交差点がもっとも多いそうです。まさに「慣れからくる“油断”」が事故につながっているのではないのでしょうか。自転車の乗り方について学校でも継続的に指導しますが、ぜひご家庭でも時折話題にしていただければ幸いです。子どもを交通事故から守っていきましょう。（生徒指導主事 段）

